



2023・9・7開会

第3回町議会定例会

令和5年第3回町議会定例会が、9月7日に開かれ、15日に閉会しました。

この定例会では、木幡町長の行政報告のあと、条例の一部改正など議案10件、認定8件等について審議しました。

おもな内容は、次のとおりです。

◆一般会計補正予算（第五号 専決処分）

令和5年度一般会計予算に歳入歳出それぞれ五十八万八千円が追加され、予算総額五十九億八百八十二万六千円となりました。

補正は歳入に財政調整基金繰入金の追加、歳出は北海道吹奏楽コンクール参加に伴う負担金・補助及び交付金の追加

◆一般会計補正予算（第六号）

令和5年度一般会計予算に歳入歳出それぞれ三億四千三百九十四万二千円が追加され、予算総額六十二億四千五百七十八万八千円となりました。

補正のおもなものは、歳入に地方交付税、繰越金の追加など、歳出に財政調整基金積立金、病院事業会計操出金の追加などです。

◆国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

令和5年度国民健康保険特別会計予算に歳入歳出それぞれ七十万円が追加され、予算総額七億二千五百五十五万円となりました。

◆介護保険特別会計補正予算（第三号）

令和5年度介護保険特別会計予算に歳入歳出それぞれ七千四百六十二万二千円が追加さ

れ、予算総額九億六千七百十三万二千円となりました。

◆水道事業会計補正予算（第三号）

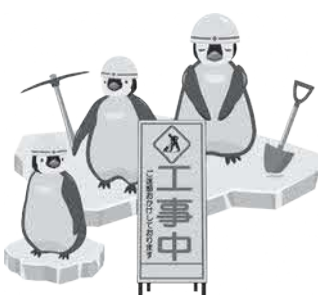
収益的支出に百七十六万三千円が追加され、予算総額二億九千七百四万五千円となりました。

◆病院事業会計補正予算（第一号）

収益的収入・支出にそれぞれ二千六百万円が追加され、収益的収入予算総額七億五千四百九十四万円、収益的支出予算総額七億七千七百三十一万円となりました。

◆工事請負契約の締結（二件）

町道長万部中の沢線外道路付替工事を二億七千三百七十七万二千円で、下水道（汚水）付替工事を二億五千五百五十八万五千円で岩田地崎建設株式会社と契約することが承認されました。



木幡町長の 行政報告

=令和5年9月7日=

第三回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

財政関係

はじめに、財政関係について申し上げます。

本年度の普通交付税交付額は、七月二十八日に決定されました。

普通交付税の算定結果は、基準財政需要額三十億四千九百八十七万七千円から基準財政収入額七億一千八百三十八万三千円、調整額百三十七万五千円を控除した二十三億三千十一万九千円が交付額となり、前年度と比較して一・一パーセント、二千五百八十二万二千円の減となりました。

記念事業関係

次に、開礎百五十年・町制施行八十年記念事業関係について申し上げます。

本記念事業では、「長万部町開礎百五十年・町制施行八十年記念誌」を作成中であり、行事としては、おしゃまんべ毛がまつりに協賛し、八月十日には記念花火大会が盛大に実施されております。

また、十一月一日には学習文化センターにおいて、記念式典の開催を予定しております。

中ノ沢駅の廃止提案

次に、J R北海道による中ノ沢駅の廃止提案について申し上げます。

J R北海道では、令和六年三月のダイヤ改正に合わせ、利用者数の極端に少ない中ノ沢駅の廃止について検討がされております。

このことから、地域住民のみなさまのご意見やご要望を把握するため、六月十七日の中ノ沢振興会館において「J R中ノ沢駅の存廃に関する説明会」を開催いたしました。説明会には、中ノ沢地域の方々に多数参加いただき、現在の中ノ沢駅の利用状況や存続させるためには町が経費を

負担し、維持管理することが必要なことなどを説明させていただきました。

参加者との意見交換では、今後の設備の老朽化による更新費用など将来的な町の負担も見込まれることから、町が維持管理をして駅を存続させることは極めて困難であり、駅の廃止はやむを得ないとの認識を共有するとともに今後の方向性を確認したところであります。

町としては、これらを踏まえJ R北海道と中ノ沢駅の廃止に向けた手続きを進めるとともに、廃止後の代替交通手段など地域住民の足を守るための方策を検討してまいります。



北海道新幹線関係

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

現在、町内では五つのトンネル工事が施工中で、八月一日現在において、立岩トンネルのルコツ工区と豊野トンネル、国縫トンネルは掘削を完了し、残る覆工などを施工中であり、残りの掘削中のトンネルについて、立岩トンネルの豊津工区では、本坑二千六十五メートルのうち一千八百三十四メートルが、豊野トンネル外一箇所では、幌内トンネルに既に掘削済みの豊野トンネルを含めた延長とはなりますが、本坑二千六百六十五メートルのうち一千七百四十メートルを掘削中であります。

また、内浦トンネルの静狩工区では、本坑五千五百七十九メートルのうち三千七百九十メートルが掘削されております。

さらに、地上部の明かり区間の工事につきましては、平里高架橋の工区では、高架橋の基礎の工事を施工中であり、そのほか、国縫高架橋、花岡高架橋、中ノ沢高架橋、栄原高架橋、共立路盤、静狩路盤の工区では、工事の準備を行っているところであります。

新幹線長万部駅新前周辺整備

次に、新幹線長万部駅周辺整備について申し上げます。町では、平成三十年策定の「長万部まちづくりアクション

プラン」の提言や、令和三年策定の「長万部都市計画マスタープラン」の方針として、長万部駅の東西を結ぶ自由通路の整備を目指し、令和三年度に基本計画を作成し、整備に向けて関係機関との調整を進めてまいりましたが、J R北海道から八月一日に、自由通路の設置について同意する旨の回答を文書でいただきました。

このことから、自由通路につきましては、現在の駅舎を除却し、その位置から高砂町側の新幹線長万部駅方向に整備することが確定いたしました。

また、J R北海道からは、新幹線長万部駅から在来線のホームを結ぶ新たな旅客通路を自由通路に併設して整備する方向で検討している旨の説明があり、新たな新幹線長万部駅と駅を中心とした都市施設の「かたち」が少しずつ固まっております。

都市計画道路の変更

次に都市計画道路の変更について申し上げます。

本年四月に道道昇格した本町通につきましては、北海道の道路拡幅と東口駅前整備を見据えて、駅前から国道五号・三十七号交点に至る延長六百四十メートルの区間に

いて、幅員を十二メートルから十八メートルに変更すると、東口駅前広場を区域に追加することなどを内容とした都市計画道路の変更案を取りまとめました。

この変更案について、八月七日にあつまんで十一名の方のご出席をいただき住民説明会を開催し、八月八日の長万部町都市計画審議会においてご了解いただいたところであります。

今後、北海道の都市計画審議会での議論が必要になることから、関係する事務手続きを進めてまいります。

広域自治体連携の取組

次に広域自治体連携の取組について申し上げます。

長万部町と黒松内町、豊浦町で構成する「はしっこ同盟」と生活協同組合コープさっぽろとの間で、住民サービスの向上及び地域社会の安全・安心の確保や活性化を目的とした包括連携協定を七月十四日に締結いたしました。

この協定に伴い、現在、販売店舗がない地域にコープさっぽろの移動販売車「おまかせ便力ケル」を運行できるかの協議を進めているところであり、関連する移動販売車の実証運行の実施に係る補正

予算を本定例会に提案いたしております。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

次に、新型コロナウイルスワクチン接種事業について申し上げます。

新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、令和五年度の一年間は、特例臨時接種を継続し接種を行うこととされ、重症化リスクが高い方等への「春開始接種」は概ね終了し、現在は、初回接種を終えた生後六か月以上のすべての方を対象とした「秋開始接種」の準備を進めており、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

地域敬老会

次に、地域敬老会について申し上げます。

地域敬老会につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和二年度、令和三年度は開催をお願いできておりませんでした。が、本年度も昨年度と同様に、地域のみなさまの手作りにより、高齢者の長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらうため地域敬老会を開催す

る場合、又は地域敬老会開催の代替として記念品等を配布する場合でも補助金を交付することとし、各町内会等へお願いいたしました。

農業関係

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の飼養に不可欠な飼料作物の牧草は、八月十五日現在の生育状況調査では、二番草収穫作業が平年よりも二日早く進み、サイレージ用ともるこしの生育状況も平年より五日早く進んでおります。

生乳生産の一月から七月までの出荷量は五千三百五十トン、乳代は五億八百八十三万円となっており、前年同期と比較して出荷量は九十八トンの減少となりましたが、乳代は二千五百五十万円の増額となりました。

黒毛和牛の一月から七月までの販売頭数は百二十一頭、販売金額は七千三百十九万円となっており、前年同期と比較して販売頭数は二頭の減少となり、販売金額は一千四百五十五万円の減額となりました。

また、酪農畜産農家が使用する配合飼料等の価格がウクライナ情勢の長期化により高止まりとなっていることか



ら、支援方策として酪農畜産経営支援に関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

林業関係

次に、林業関係について申し上げます。

町有林一般造林事業の下刈事業は、共立地区十五・五ヘクタール、平里地区三ヘクタール、富野地区三ヘクタールを八月一日に完了しております。

森林整備センターとの分収造林事業の下刈事業は、豊津地区二十ヘクタールを七月十二日に完了しております。

道営事業で進めている森林基幹道豊津・黒岩線の林道整備事業は、令和六年二月二十九日までの工期で施工中であります。

有害鳥獣駆除対策

次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。

今年もヒグマやキツネ、エゾシカなどに加えて、特定外来生物であるアライグマの出没も見られる状況であり、鳥獣被害防止対策協議会と連携し、今後もヒグマなどの有害鳥獣による人畜及び農林業等への被害を防止し、住民の生活安全を図ってまいります。

漁業関係

次に、漁業関係について申し上げます。

漁業関係全体の一月から七月までの水揚げ実績は約五十億円となっており、前年同期と比較して約三億円の減額となりました。

このうち、ホタテ貝の生産量は一万二千五百七十三トン、前年同期と比較して二十一・三パーセント減少しております。また、水揚げ実績では約四十九億円、前年同期と比較して約五パーセント減少しております。

ホタテ貝養殖漁業における地場採苗の状況は、六月から投入した採苗器には、多くのホタテ貝種苗が付着しているのが確認されております。し

かし、付着したばかりの種苗は、最も弱い時期でもあり、慎重な取り扱いが必要となりますので、各関係機関と連携を図り、生育動向を注視してまいります。

北海道が事業主体となり、水産物供給基盤機能保全事業で行う老朽化した長万部漁港の保全工事は、昨年度に引き続き、岸壁等の補修工事が開始されており、静狩漁港につきましても同事業にて昨年度に引き続き東防砂堤延伸工事が施工されております。

商工観光関係

次に、商工観光関係について申し上げます。

商工観光全般においては、長期に及んだ新型コロナウイルス感染症の影響に加え、国際情勢の変化、エネルギーや原材料等の価格高騰が円安基調と相まって、事業者の経営環境はこれまで以上に厳しい状況が続いております。その支援方策として、昨年度に引き続き、商工会員の経営の安定化や経営の改善等を図るため、商工事業者経営改善等支援事業を実施したところ、本年度は十八事業者が申請し、そのうち十一事業者が採択となり、経営改善に努めております。

なお、本事業につきまして、地方創生臨時交付金を活用する予定となっております。

商工観光振興の一環として実施されております「おしゃまんべ毛がにまつり」は、七月一日、二日に四年ぶりの開催となりました。両日とも天候にも恵まれ、町内の方とはもとより、町外からも大勢の来場があり、約一万三千人の来場をいただき、毛がに早食い競争をはじめとする各種イベントで大いに盛り上がりました。販売用毛がには、オオズワイガニの大量発生の影響による不漁のため、数量確保が困難な状況にありましたが、関係機関のご尽力により、例年より高い単価となりましたが、十分な数量を販売することができました。



合宿誘致事業は、長万部温泉利用協同組合が積極的に誘致活動に取り組んでおり、今年度は八月に道内の高等学校五校による剣道の合宿が行われ、延べ百十四人の方が宿泊されました。

建設関係

次に、建設関係について申し上げます。

建築事業では、町営住宅はまなす第三団地非常灯交換工事は八月一日に完了しております。町営住宅（仮称）新南部団地建設工事は、第一工区の造成道路路外工事、第二工区の住棟建設工事は十二月八日までの工期で施工中であります。また、来年度実施を予定している住棟建設工事の実施設計業務委託は、令和六年一月三十一日までの工期で実施中であり、その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事につきましては、計画的に実施しております。

土木事業では、ポロナイ川調査設計業務委託は八月三十一日に完了しております。田尻川調査設計業務委託及び町道佐渡ヶ島線調査設計業務委託は十月三十一日まで、橋りょう点検業務委託は令和六年一月三十一日までの工期で実施中であります。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事は十一月十七日まで、道路排水等清掃業務は十一月三十日まで

の工期で実施中であります。その他、道路、側溝等の維持補修等につきましては、計画的に実施しております。また、昨年八月十六日の大雨により被害を受けた町道浅見線につきましましては、八月三十一日に復旧工事を完了しております。

公園事業では、都市公園施設劣化度調査業務委託を十月三十一日までの工期で実施中

水道事業

次に、水道事業について申し上げます。

長万部地区浄水場送水ポンプ修繕工事は、令和六年二月十五日までの工期で実施中

であります。また、上水道静狩地区浄水施設さく井工事は、十二月十五日までの工期で実施中

病院事業

次に、病院事業について申し上げます。

町立病院では、新型コロナウイルス

ウィルス感染症拡大防止のため、発熱外来を継続して開設しております。

町内での感染拡大時には、診療体制を整えるため、一部外来診療を休診するなどで、随時対応してまいりますので、町民のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

消防関係

次に、消防関係について申し上げます。

七月末までの火災件数は一件で、枯れ草火災が発生しております。

救急件数は二百七件で、急病が八十九件、交通事故が十四件、一般負傷が二十五件、その他転院搬送などが七十九件で、ドクターヘリによる搬送は四件となっております。

八月五日、消防庁舎前にいて、消防団や危険物安全協会、社会を明るくする運動推進委員会の協力のもと、四年ぶりとなる「おしゃまんべ消防フェス2023」を開催し、町内外から百四十三名の参加者が、消防車の体験乗車や消火器の操作、応急手当などを体験されました。